

# 鹿老連

## 発行者

鹿沼市老人クラブ連合会  
〒322-0043 鹿沼市万町931-1  
TEL 0289-65-5191(呼)  
鹿沼市総合福祉センター内

## 編集者

広報部編集委員会



交通安全グラウンドゴルフ大会 特殊詐欺講習会



女性部 グラウンドゴルフ大会



北押原地区 花卉植栽



北押原地区老人クラブ協議会 7単位クラブ共同作業 花卉植栽活動



## 会長就任にあたって

鹿沼市老人クラブ連合会

会長 鈴木 康子



男女共同  
参画社会の  
実現といわ  
れて久しく  
なります。

老人クラブの全国組織に加盟する  
県内25市町で、女性が連合会長に  
就くのは鹿沼市が2例目かと思  
います。

この度、浅学非才の身で微力な  
私ですが、伝統ある鹿老連の会長  
という責務を担うことになりました。  
会員皆様方の暖かいご指導と  
ご協力、そして知恵と知識をお借  
りしながら、ためらうことなく、  
一步一步と歩みを進めて参りたい  
と思います。

八十路に入り身体の不具合を感  
じることもあります。健康は  
役員のご褒美”と、自らの健康に  
感謝しながら任務を全うして参り  
たいと思います。宜しくお願い致  
します。

ここ数年、老人クラブを取り巻

く環境は大きく様変わりしまし  
た。気が付けば行動を共にした仲  
間も齢を重ねて、一人、また一人  
と老人クラブを去っていきます。  
会員数の減少に歯止めがかかりま  
せん。

次世代を担う若い人達に加入を  
促し、世代間の意識の違いは埋め  
ようありませんが、老いては子  
(若い人)に従え、若い世代に学び、  
理解し、行動を共にすることこそ  
老人クラブの発展に繋がると思  
います。

私は、「会員の増強」と「健康寿  
命の延伸」に重点を置き、衆知を  
集めて一步前へ、いえ、半歩でも  
前へ進めて参りたいと思います。  
重いテーマに触れますが、老人  
クラブの現実を避けて通れない危  
機に直面しています。

喜びや楽しみは、他人から与え  
られるものではありません。自分  
自身が創りだすものです。人も組  
織(老人クラブ)も日々の努力を怠

れば加速度的に衰退の一途を辿る  
ことになると思います。

どうか皆さん！安全で安心して  
暮せる地域づくりは、少子高齢化

## 退任にあたって



本年、令  
和3年度は  
役員改選の  
年であり、  
4月19日の

定期総会において私は任期満了に  
より退任させていただきました。

思い起こせば平成18年1月に  
栗野町が鹿沼市と合併になり、  
4月に老人クラブも鹿沼市に編  
入いたしました。同時に総務部  
副部長となり、翌19年4月に副  
会長に選任され総務部長を兼務



社会における老人クラブの役割で  
はないでしょうか？重ねてご協力  
をお願い致します。

鹿沼市老人クラブ連合会

前会長 小島 正男

することになりました。平成27  
年4月には連合会長に推薦され、  
3期6年間、副会長からですと  
14年間務めさせていただきまし  
た。任期中には、昨年2月22日  
新型コロナウイルスが県内で初めて確認  
されてから1年4か月になり、  
予定していた各種イベント・行  
事等も中止を余儀なくされたも  
のが多く、誠に残念でなりませ  
ん。しかし、地区協議会の代表  
である理事・監事そして会員の  
皆さんをはじめ市当局、関係諸  
団体のご支援とご協力により大  
過なく務めることができました。  
心から感謝と、お礼を申し上げ  
る次第であります。

今日の老人クラブの大きな課  
題であります会員の加入促進、  
クラブの拡大、後継役員の育成

等に取り組んでいただきましたが、現実には殊の外厳しい状況にあります。どうか新会長を中心に一致団結して既存クラブの解散防止や未設置地区へのクラブの拡大に、地域の自治会と連携強化を図り、創意工夫を凝らしながら会員増強に努めてくださいますようお願い申し上げます。

また本年度から、シニアの社会参加の促進と、老人クラブ活性化を図るため、とちぎ生涯現役シニア応援センター（ぷらっと）の業務を県老連が受託しました。

今後市町老連事務局に設置することで、老人クラブとしては「会員の確保（増強）」や「活動の充実」に向けた対応が活性化されます。また県「ぷらっと」に於いてもシニア社会参加の案内が身近にできる窓口となり、地域の活動への支援が十分にできることにより、協働による効果が得られますので、順次進めていくなかで、ぜひ積極的な取り組みをお願いいたします。

最後になりますが、今後は一

会員として会発展のため微力を捧げたく心しておりますので一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。退任の挨拶といたします。

## 総務部

部長 武藤 義夫

令和3年度定期総会は規模を縮小したなかですが、4月19日無事終了しました。会員皆様のご理解ご協力に感謝いたします。

前年度はコロナ関連により多くの行事が中止になりました。現況上やむを得ない事態であり、あらためてご了承下さい。

さて私事、本年度から総務部長に就任致しました。前任の鈴木会長からの引継ぎで私に同様の役割が務まるか大変心配しているところですが、一つ一つ真剣に取り組み役員、会員の皆様のご指導ご協力を得ながら、仕事に邁進していく所存ですので、どうぞよろしくお願い致します。

5月12日、交通安全グラウンド

ゴルフ大会に於いて、交通安全と特殊詐欺について講話を受けました。本年度の役員研修視察旅行は中止になりました。社会奉仕（年2回）は実施予定です。単位クラブリーダー等研修、高齢者フェスティバル老人クラブ大会、新春の集いは、コロナウイルスの感染状況をみて開催を検討する予定です。ワクチン接種が順調に進み、感染が制圧されることを願っております。

細菌は、世界で538種ほどあります。新陳代謝があり、抗生物質が効きます。ウイルスは世界に217種あり新陳代謝がなく抗生物質が効かないそうです。インフルエンザと同じように今後対処しなければならず注意した行動を求められます。

現在の会員数は2200名弱であり、800人会員増計画に反して、年々に減少傾向です。

鹿老連役員、協議会長が一体となり自治会長に協力を依頼し会員増加運動を進めていく必要があると思います。

## 健康増進部

部長 原野 勇



本年度の役員改選に当り、健康増進部部長を担当する

ことになりました南押原協議会の原野勇です。先行き大変不安ですが、会員の皆様の協力指導を賜り老体に鞭打ち全力を注いで参る所存ですので御協力を宜しく申し上げます。就任早々心の準備も出来ない内に通年実施している第十五回交通安全グラウンドゴルフ大会が去る五月十二日（水）、栗野運動公園にて開かれました。コロナ禍の中、会員一人一人が感染予防対策をしっかりと守り、鹿沼市長・警察署長・安協所長始め十余名の方々を来賓として盛大に開会式が行われ、選手二百余名の参加で競技に熱中し、終了後は警察署の方より交通安全防犯講話を頂き大変有意義な一日を過ごすことができました。なお、



前年の十四回大会は、コロナ禍のため中止となりました。これも偏に会長始め本部役員、健康増進部員、女性部スタッフや事務局の御指導御協力の賜物と心より御礼申し上げます。今年の事業も、逐次実施して参る所存ですので会員の皆様方のなお一層の御協力御指導を重ねてお願い申し上げます。

## 女性部

部長 福田 チエ子



令和3年度より女性部長を務めることになりました福田です。不慣れではありますが、

会員各位の知恵と知識、そして意見を伺いながら活動させていただきま

す。新型コロナウイルス感染症の終息が見えないなか、鹿沼市でも5月19日からワクチン接種が始まり、ほっ

としています。女性部では、6月15日、出会い

の森運動公園で開催するグラウンドゴルフ大会を皮切りに少しずつ様子を見ながら活動を始めて行きたいと思っています。現在、指導を受けながら月2回の、パドル体操を行なっています。毎年恒例の「友愛訪問」は、新型コロナウイルス感染症の危険性を考え、中止にしました。鹿老連における女性部の役割をしっかりと認識し、微力ながら最善を尽くして参ります。よろしくお願いいたします。

## 広報部

部長 寺崎 尚美

会報誌の発行を担う広報部は、コロナ禍の経験に学び、新たな取り組みをして飛躍の年にしたいと考えています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症という不測の事態に見舞われ、予定していた行事はおおむね中止を余儀なくされました。それでもいくつかのスポーツイベントが開催され、幸い、感染者を出すこともなくこの危機を乗り越え、ワクチン接種の時を迎えることができ

ました。

マスクをして会話することすら憚られる日常生活は、精神的に大きなダメージを伴うものでした。この1年「ブレイル(虚弱)」という身体的機能や認知機能の低下を招く危険と背中合わせの時間を過ごしましたが、ワクチン接種が進み安堵しています。

広報部は、コロナ禍に終始した令和2年度を顧み、反省を強いられることがあります。“なぜ”もっと発信できなかったのか。“なぜ”もっと情報提供をできなかったのか。いまとなつては悔やまれる思いです。

外出が制限され、外界との接触が断たれた高齢者に「学ぶ喜び、知る喜び、行動する喜び」、きつとたくさんさんの情報を提供できたのではないかと反省しています。過ぎたことはどうにもなりません。今年度は、これらの反省を踏まえ、会報誌とは別に号外を不定期に発行し、会員相互の意思の疎通を図り、広報部の飛躍の年にしたいと思

## 創作部

部長 渡辺 雅紀



今年度より創作部を担当することになりました南摩地区協議会選出の渡辺です。どうぞ

よろしくお願いいたします。

私は、これまで老人クラブ活動の基本を「人にお世話になるのではなく、人のお世話のできる高齢者になる」を念頭に置き、フレイル予防の視点から取り組みを進めてまいりました。

具体的には、主にスポーツ等を通しての健康づくりと体力アップを図ること。さらには地域開催の事業等に積極的に参加し、地域に暮らす大勢の人たちとの交流の場を数多く持つことで、高齢者一人一人の孤立・孤独感からの解放です。

「超高齢社会」は、2025年問題で言われるように、すでに現役世代が支える高齢者の人口が、騎馬

戦型を飛び越え肩車型へと急速に向かっています。これはわが国の人口構造上の問題であり、どうしても避けられない現実です。とすれば、今私たち高齢者のすべきことはおのずと答えが出るはずです。

また高齢者が増えているにもかかわらず、会員数が減少しつつあります。組織の発展は人の力にほか

なりません。どんな崇高な目標を掲げて、人の力なしに発展はあり得ません。会員増は、すべての単位クラブの喫緊の課題と思います。笑顔あふれる、明るく豊かな鹿老連をつくりあげていくには、皆様のお力添えが不可欠です。役足らずではありますが、今後ともご指導ご協力をお願いいたします。

# 地区だより

## 運動免許更新の記

中央地区

麻苧町寿楽会 川嶋 幸一

最近マスメディアを賑わしている高齢ドライバーの事故多発の現状について、私も三年に一度の免許更新時期を迎え、免許の返納を含め、どう対処すべきかと考えることになりました。

思い起こせば、昭和二十七年に東京鮫洲の試験場で当時小型自動車四輪免許を取得、以来七十年の年月にわたり資格所有者になりました。

た。途中、側車は自動二輪車、自動三輪車の免許もとりましたが、法令改正により普通自動車二種免許になり現在に至っています。

今では、高齢者講習に認知機能検査が実施され、成績如何で講習時間の延長や費用の増額というハンデが付くようになりました。幸い82点の得点で無事通過しました。

年齢と共に様々な衰えが出るのは世の常なのですが、体力維持に充分注意を払い、いま流行の新

型コロナに負けないで活動し、一日一日を元気に過ごして行くべく努力を続けたいと思います。

東部地区

## 東部地区

東寿会 会長 手塚 勝敏

私たち東部地区は、府中町たつみ会と上野町の東寿会のふたつの単位クラブが集り、男十五名、女十九名の健康で明るく楽しい仲間が集り、定例行事を行っていました！(過去形?) 昨年度の新型コロナウイルス発生以来、主たる行事ができず、各クラブ単位で密を避け、グラウンドゴルフや屋外での会議(オシャベリ)でコミュニケーションを図っている状況です。教養(今

日用がある)と教育(今日行く所がある)に溢れている、素敵な仲間がいるのに……。ワクチン接種や感染が終息したら、今まで計画倒れになっていた事業に前向きに取り組んで行こうと会員全員で誓い合いました。とにかく今は各個人が<sup>かか</sup>罹らないことを最優先に考えていただき、健康に過ごして欲しいと思います。朝の来ない夜はありませんので！

東部台区地

## 一歩出て交流を図る活動

東町あづま会 会長 及川 宗彦

私共の東町あづま会は、昭和48年4月15日に約70名で発足しましたが、徐々に会員が減少し、現在総勢41名で活動しています。主な活動としては、健康増進及び道路

清掃並びに地域に密着した活動です。健康増進運動としては、週3回のグラウンドゴルフ、週1回の輪投げの他、健康体操等を和気あいあいと行っております。また、環境



美化活動として5月から10月迄の毎月1日、朝6時から県道及び市道のゴミ拾い並びに雑草取りを行っており、本年5月の活動時には11名が参加して行いました。長年の活動に対し県土木事務所から感謝状を頂きました。その他として、自治会主催の盆踊りを共催し、地域住民に日光和楽踊りを教えて、地域との連携も密にし



携も密にし

て活動しています。昨年は、コロナの関係で多くの行事が中止になりましたが、元気に頑張っています。しかし、中には自粛の為に、足腰が弱ってしまった方、出るのが億劫おっになっていく方、施設に入った為に会から抜けていく人がいるのが現状です。募集も掛けてみましたが、なかなか入会には至りません。その為、育成会及び自治会役員時代の仲間と声を掛け徐々に入っています。60代の人何人か入って頂きました。今後も、会員の皆様の健康と活力の為に、無理のない程度での見える形の活動を起こし、会員の増加及び諸行事の再開を目指して頑張っております。

南摩地区

老人クラブの存在意義

西沢二区長寿会 荻原 唯夫

南摩地区所属の某老人クラブのグラウンドゴルフ部(以下G・G部)は、高齢者の高齢化もあって一時は存続の危ぶまれる程に規模が縮小してしまいました。しかし、残された部員の懸命の

勧誘により、5名の若手老人会員が入部し再び活況を呈して来しました。その後も先輩部員の熱心な指導により試合に出られる程に技術を磨き、この度の交通安全GG大会には全員揃って出場を果たしま

した。

新入部員達の感想を伺うと、何よりも外出の機会が増えたこと、練習そのものも、休憩時間の雑談も楽しいこと、そして試合では、



満開の桜の下で先輩の指導を受ける新人達4人

南押原地区

楡木神社清掃に祈りを込めて  
「コロナ禍を乗り越えよう」

寿町寿楽会 前会長 石川 侑三

新型コロナウイルス感染が拡大し、各事業が中止になる中、できるのは神社掃除とグラウンドゴルフだけです。特に神社掃除は、寿楽会全会員参加の事業です。神社縁起によれば、その昔、楡木神社では上国で身分の高い人物

が戦死し、その遺骨をもって家臣達がこの地に逃れ来て祀り、祖神日本武尊・武内宿禰命を合祀したとされています。享保16年(1731年)には正一位という高位の神階が授けられました。江戸時代までは星宮大権現と称しまし

見知らぬ人との出会いがあること等々、新しい生き甲斐を見つけて、クラブを握る日が待ち遠しくて仕方がないということでした。  
この経験を通して、高齢者のひきこもり、うつ、フレイル、そして孤立等を防止し、新たな生き甲斐を提供することこそ、老人クラブの役割であることを改めて認識させていただきました。  
会員の減少、コロナ等々老人クラブの運営は厳しい点が多々ありますが、自分にできる社会貢献のひとつとして、これからも力強く先導して参りたいと考えて居ります。

たが、明治初頭仏教色が一掃され、明治2年(1869年)に楡木神社に改称されました。

それ故に、この地では氏子とはもとより、特に他郷より当地に移住した者は、大神に守られ、今に至るまで無病息災にして家は富み、



### 清洲地区

## 深程スマイル会の活動について

深程スマイル会 大貫 春江

私たち深程スマイル会は、平成

24年8月、地域自治会役員の皆様の協力により発足、今年で9年目になります。

当初、50名の会員でスタートしました。主な行事として、新年会、保育園の七夕祭り、小松神社境内の草取り及び大杉神社の秋祭りお囃子会に参加して、子供達に風船やお菓子を配り、会員が品物を提

子孫は繁栄、災害は少ないと伝えられていきます。自粛生活が長引く中、月1回でもみんなに会えるのは、高齢化できつい作業ながらも、久しぶりの情報交換のひとつです。最近は、若い高齢者の参加が見られ、事業参加や会員増加の起爆剤にと期待がかかります。

ワクチン接種も順調に進み、コロナ禍の収束が早く叶えられるように、ありがたい神様に祈りを込めてお願いし、この苦難をみんなですべて乗り越えましょう。

供してバザーを開き好評でした。

輪投げ、グラウンドゴルフ、鹿老連のフェスティバルへ参加して30名が大きな舞台で歌を披露し初めて経験した団結力に親睦がより深まりました。このようなこともあり鹿老連大会の令和元年11月28日に優良老人クラブとして表彰されました。昨年4月、突然のコロナ禍に全ての行事が中止となり、巣ごも

りの暮らしがどんなに辛く、平常に過ごせたことの大切さを思い知らされました。県の緊急事態宣言が解除され、グラウンドゴルフの練習を再開して全員がマナーを守り、仲間と競い合い、山に囲まれたグラウンドに歓声が響きます。互いに

### 永野地区

## 特殊詐欺について

久分マロニエ会 会長 小太刀 良男

共有できる楽しみを分かち合い、コミュニケーションを保ちながら仲間が増えることを期待しています。

念願のコロナワクチン接種が始まりました。明るいニュースを楽しみに一日も早いコロナの収束を願っております。

電話する妻の声が断片的に聞こえてくる。長男の名を語る相手に真剣に対応している。そのうち声が違ふと判断したのか、名字を尋ね、息子ではないと判断したようだ。電話を聞きつつ、オレオレ詐欺と直感した。息子から、居所も名前も曖昧な電話のある筈がない。電話を終えた妻の話では、最初半信半疑だったようだ。普段から詐欺の話をし、自信を持っていた妻も、海外で暮らし、日頃音信のない息子を名乗る相手の電話に、思わず引き込まれそうになったと言う。

オレオレ詐欺は日常茶飯事と言

えるものだが、依然として後を絶たない。鹿老連からも、注意を促すチラシが配布された。そこには栃木県警察からの「だまされないで！サギの電話！」とするチラシや「アポ電対策に電話機の買替えを！」とあり三つの機能の付いた固定電話への買換えが推奨され特殊詐欺対策が記されている。最近では新型コロナウイルス、ワクチン接種に関わるものまで現れ、あの手この手で詐欺の手口も巧妙になっている。上述の電話機対策や日頃から家族同士連絡を取り、例えば合言葉を確認するといった対策を講じ、詐欺被害を防ぎたいものである。



# 令和二年度受賞者紹介

(順不同、敬称略)

\*老人クラブ育成功労者表彰

東部台地区 武藤 義夫

南摩地区 渡辺 雅紀

東部台地区 蓬田 良知

西大芦地区 福田 勝枝

北押原地区 斎藤 幸作

\*優良老人クラブ表彰

北犬飼地区 松原シニア会

栗野地区 なか町八千代会

\*県老連育成功労者表彰

菊沢地区 福田 豊作

\*県老連優良老人クラブ表彰

栗野地区 新宿長寿会

\*県老連加入促進運動達成クラブ表彰

北犬飼地区 つだ未来塾

東部台地区 東町あづま会

北押原地区 樺山福寿会

\*県老連広報誌コンクール表彰

優秀賞

北犬飼地区 松原シニア会

\*県福祉大会活動功労知事表彰

北押原地区 日光奈良部町福寿会

\*鹿沼市福祉大会

福祉功労者賞

南押原地区 寺内 常夫

受賞、おめでとうございます。

連載、第2回「鹿沼の歴史こぼれ話」は、紙面の都合により次号に掲載します。

## 事務局便り

書籍紹介

戦後75年『へいわってどんなこと?』

戦争が終わって75年。私たちは戦争を知りません。

なぜ殺すのか?

なぜ殺されるのか?

誰が始めたこと?

何のために戦争するの?

この絵本が今、大変話題になっております。日・中・韓のまんが家たちが共同作成し、世界に向けて発信しています。子供の頃は皆、親から「喧嘩しちゃだめですよ!」と言われたはず。

戦争は大人の喧嘩です。

何よりも、多くの子供たちが戦争の犠牲

牲になっています。

是非、お孫さんたちに戦争の話をし、てあげてください。そしてこの本を読ませてあげてください。読む人がどんどん増えたら戦争のない地球になっていくのでしようね。

個人の力では、戦争を無くすことなどできません。自分から、身近なところから争いを無くすことから始まるのではないのでしょうか?

事務局 福田

(1956年生)



## 短歌

あるじなき家にもなれて我なりの元気を終活少しづつ

せせらぎの流音聞きつつウオークすくぐり抜けたる橋いくつ

足早やに父母の許に旅立ちぬ甥の遠影に小言の祈り

鳴虫山のとつべんに煌めく星の微笑は後を頼むと今宵も眩し

穏やかに和裁ひとすじ生きた母春爛漫の野辺へ旅立つ

路の墓一ひら浮かし今朝の膳

春風や籠れる人の背を押す

黒き畔野焼きの痕のあたたかき

春めきて華やぐ妻の化粧筆

五月空仰ぎて見ればはや八十路

落の墓一ひら浮かし今朝の膳

春風や籠れる人の背を押す

黒き畔野焼きの痕のあたたかき

春めきて華やぐ妻の化粧筆

北犬飼 上石川第一長寿会

柴原 美鈴

北犬飼 松原シニア会

佐藤 謙二

北犬飼 松原シニア会

関口 勝男

北犬飼 松原シニア会

栗山 幸枝

北犬飼 松原シニア会

柿沼しげ子

北犬飼 松原シニア会

鈴木 清樹

北犬飼 松原シニア会

佐藤 キミ

北犬飼 松原シニア会

寺内 光子

北犬飼 松原シニア会

栗山 幸枝

北犬飼 松原シニア会

関口 勝男

北犬飼 松原シニア会

栗山 幸枝

北犬飼 松原シニア会

柿沼しげ子

北犬飼 松原シニア会

鈴木 清樹

北犬飼 松原シニア会

佐藤 キミ

北犬飼 松原シニア会

寺内 光子

北犬飼 松原シニア会

栗山 幸枝

北犬飼 松原シニア会

関口 勝男

北犬飼 松原シニア会

栗山 幸枝

北犬飼 松原シニア会

柿沼しげ子

北犬飼 松原シニア会

鈴木 清樹

北犬飼 松原シニア会

佐藤 キミ

北犬飼 松原シニア会

寺内 光子

北犬飼 松原シニア会

栗山 幸枝

北犬飼 松原シニア会

関口 勝男

北犬飼 松原シニア会

栗山 幸枝

北犬飼 松原シニア会

柿沼しげ子

北犬飼 松原シニア会

鈴木 清樹

北犬飼 松原シニア会

佐藤 キミ

北犬飼 松原シニア会

寺内 光子

北犬飼 松原シニア会

栗山 幸枝

北犬飼 松原シニア会

関口 勝男

北犬飼 松原シニア会

栗山 幸枝

北犬飼 松原シニア会

柿沼しげ子

北犬飼 松原シニア会

鈴木 清樹

北犬飼 松原シニア会

佐藤 キミ

北犬飼 松原シニア会

寺内 光子

北犬飼 松原シニア会

栗山 幸枝

北犬飼 松原シニア会

関口 勝男

北犬飼 松原シニア会

栗山 幸枝

## 編集後記

### 新型コロナウイルスに学ぶ

新型コロナウイルスは、衰えを知らず、ますます猛威を振るい、全世界を震撼させています。不謹慎な発言とお叱りを受けるかもしれませんが、猛威を振るうコロナの姿から学ぶものがあります。

人類は、世界の英知を集めてコロナ感染症の絶滅に向けて、昼夜を分かたず努力をしています。しかし、新型コロナウイルスは次々に変異を繰り返して、生き残りを賭けた戦いを挑んでいきます。皆さん、コロナは偉大だ!と思いませんか。

私たちは、知らず知らずのうちに長い時間をかけて鎧のように纏った固定観念という自分の殻があります。コロナは、この殻を破り、脱皮して時代の変化に応じた殻を纏うことの大切さを教えてくれているような気がします。いかがでしょうか。コロナの変わりから学ぶものがありますね…?

老人クラブも例外ではありません。時代の変化を的確に捉え、時代に相応しい変化をしなければ、社会から見放されてしまいます。まずは会報誌の発行に特化した広報部から脱皮を試み、新たな活動を展開します。

(寺崎)